Sarah通信 vol.18

2022年2月号

気づけばもう2022年。今年は壬寅（みずえのとら）、いよいよ厳しい冬を超えて新たな成長に向けて動き出す段階に入る年と言われています。
奈良で寅年と言えば、有名なのが朝護孫子寺。入り口の大きな張り子の寅がシンボルですが、実はこの寅、おなかの所に小さな切れ込みがあって、12年に一度の寅年だけ投函できるポストになっているんです！その手紙はお寺の方が預かって12年後に配達して下さるそうですよ～。今年の思いを12年後の自分に送るのも、愛する家族や恋人に送るのも浪漫がありますよね。朝護孫子寺にお参りの際には是非、お手紙持参でどうぞ♪。
今年もご愛顧よろしくお願いいたします。

株式会社　ラナ　代表　藤山　咲衣

今回のトピックス

「ボリュームアップ」を叶えるシャンプー発売！

この度、株式会社ENECO　JAPANから新商品が発売されました。
アミノ酸系のシャンプーです。
以前からシャンプーはご要望も多かったアイテムです。

最近はタモリさんや福山雅治さんのお陰で「脱シャン」という言葉も一般的になってきましたね。
「シャンプー」が髪には良くないという認識は広まってきていますが、かと言って今まで毎日洗っていたものをいきなりやめるのも「無理」と「脱シャン」を躊躇される方も多いのが現状です。
私個人の意見としては「脱シャン」推奨派＆実践派です。

そもそも、日本に「石鹸」がもたらされたのは江戸時代といわれています。当時は超高級品で（舶来なので当然ですが）医薬品として医療に使われていたそうです。庶民が石鹸を使うようになったのは明治時代の後半から。それでも高価な物だったので、今のように何でもかんでも石鹸で洗うという生活ではありませんでした。

では、江戸時代の女性はどうやって髪の毛を洗っていたのでしょうか？
そもそも、江戸時代の女性が髪の毛を洗うのは月に1～2回。
水が貴重で、長い髪を洗うのも乾かすのも大変なので、当然と言えば当然ですね。
そして、何で洗っていたかというと、うどん粉にフノリを混ぜた物や灰汁（アク）、椿の油かすなども使われたそうです。
それが「カラスの濡れ羽」の様な美しい髪を作っていたんですね。

そして現代使われている合成洗剤が普及しだしたのは、1950年代に入ってからです。
日本では、60年代に入ってから、台所用や住居用の洗剤が発売され、60年代に入って家庭にお風呂が普及されだしてから、シャンプーも徐々に普及しはじめました。
そして、1979年に給湯器付き風呂釜が発売される様になってから、シャンプーも「一大行事」ではなくなりました。
確かに、私が子どもの頃は風呂釜のお湯で髪をすすぐのが結構大変で、髪を洗うのは1週間に1回だった記憶があります。
現代人が今のように毎日シャンプーをするようになったのは、1980年代に入ってから。この頃から、シャンプーは毎日するものという「常識」がまかり通るようになりました。

ここに面白い広告集があります。
キャッチコピーにぜひご注目ください。

「御洗髪は一週一度！」

「夏の髪洗いは5日に1度！」

世の中の消費者がいかにコマーシャルに従って（踊らされて）日々の消費活動をしているのか？が良くわかりますよね。

「毎日洗うからわかるの。髪にやさしいって」

ところが、毎日シャンプーすると今度は「髪の傷み」が加速されました。
そこで登場するのがリンスやコンディショナーです。
じつは、このシャンプー＆リンスorコンディショナーの「セット」が年齢を重ねた多くの女性（最近は若い女性も）が悩む「薄毛」の原因になっています。薄毛の原因の多くは「毛穴のつまり」です。
「毎日毎日、一生懸命髪を洗っているから毛穴が詰まっているはずない！」むしろ「洗い足りない方が毛穴が詰まって薄毛の原因になるはず！」と一生懸命洗っていますよね？
ここで少し考えて下さい。
もし洗わないことが薄毛の原因になるなら、少し例えが過激ですが、「ホームレス」の方は全員薄毛になっているどころか丸坊主になっていても良いはず！
ですよね？
ですが、たまにお見かけする方は髪がからまるくらい剛毛な方多くないですか？
不思議ですよね～。

実は、毛穴が詰まる一番の原因はシャンプーやリンス、トリートメントなどの洗い残しです。
シャンプーをすればするほど、頭皮も皮膚ですから乾燥します。乾燥すると人の皮膚は一生懸命「脂」を出します。そうすると、余計に毛穴が詰まりやすくなります。

それに加えて、シャンプーやリンスの成分は皆さんが思っている以上に皮膚に残ります。
シャンプー後、何分ぐらいすすいでいらっしゃいますか？
あるいはリンスやトリートメントした後は何分ぐらいすすがれますか？
「何分？いえ、何秒でしょう？」
「え、トリートメントは出来るだけサッとながして、髪に残る様にするのが普通でしょ！？」
と思っている方は要注意！です。
通常、3分流さないとシャンプーやリンスの成分は残ると言われています。
通りすがりにコンディショナーの残り香が・・。という方いますよね。臭いがのこるということは、完全に成分が残っているということです。
この成分の残り、シャンプー以上に問題になるのがリンスやトリートメントです。

というのも、トリートメントに使われる界面活性剤は髪の手触りを良くするために「カチオン界面活性剤」というのが良く使われます。
この「カチオン界面活性剤」は、じつは「毒性」「刺激性」という視点で見れば、シャンプーによく使われるアニオン界面活性剤や両性界面活性剤よりも強く、殺菌作用もあります。

また、毛髪や皮膚を構成するタンパクの「ケラチン」は比較的マイナスに帯電していることが多いので、プラスに帯電するカオチンの特性によって、吸着しやすいのです。なので、頭皮や皮膚に残留すると細胞膜を壊しやすいという特性もあります。

こういった成分が頭皮に残留することによって、皮脂やほこりと絡まって毛穴を塞ぐ。また、髪の毛のキューティクルとキューティクルの間にも溜まることによって、髪の毛がうねる、薄くなる、毛穴がぺちゃんこになって結果、髪のボリュームが少なくなる。
その積み重ねが、今や40代以上の女性の45%がいわゆる「薄毛」や「髪のハリ」に悩む現状につながっています。

ということで前置きが長くなりましたが・・・
(株)ENCO JAPANからシャンプーが発売されました！
どんなシャンプーかというと、もちろんベースの水は高調波水(ev水と表記)です。
界面活性剤はアミノ酸系を使用。通常のアミノ酸系のシャンプーは泡立ちが弱いというのが特徴ですが、充分に泡立ちます。

そして、育毛効果に優れた、CAPIXYL、Redensyl、b－PAN、プロテオグリカンといった特殊な成分を配合しています。頭皮を適度に保湿し、頭皮環境を整えます。
また、こちらは育毛効果を上げるためにシャンプーのみでトリートメントは必要ないように作られています。
シャンプーはどうしてもやめられない。だけどボリュームアップしたい！という方へ最適なシャンプーです。
（※使い始めの方は、最初は天然のオイルなどでリンス・トリートメントの替わりにしてください。）

もちろん、美しい髪を保つには食生活や睡眠、ストレスや住環境など様々な影響があります。
シャンプーとしては少しお高めですが、トリートメント代は不要です。
頭皮は肌以上に色んな化学物質の影響を受けやすい部分です。
日常的に長期間使う物ほど質の良い物を選んで、将来の「髪の毛が最近ね～」という不安から解放されて下さいね！。

こんな方におすすめです

「髮が細くなってきた…」
「ふわっと立たない」
「これから先、 薄毛になるのが不安」

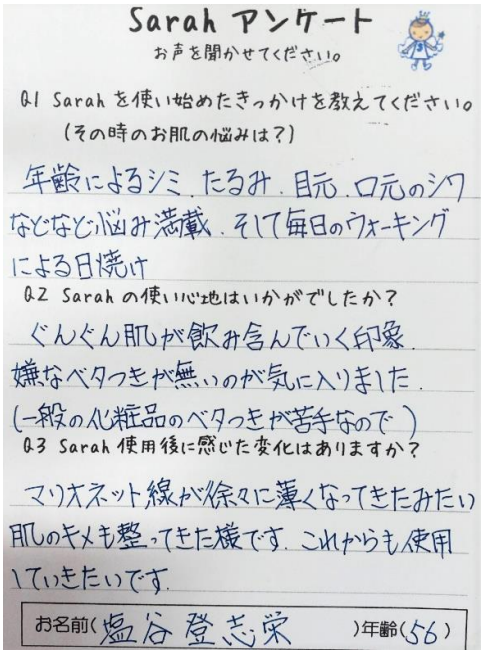
ボリュームアップ　育毛効果　頭皮を保湿

【エキス類】
○Redensyl（育毛）
○CAPIXYL（育毛）
○シロキクラゲ多糖体（保湿・泡質改善）
○アラントイン（抗炎症）
○オタネニンジン根エキス（育毛・血行促進）
○ソメイヨシノ葉エキス（抗菌・保湿・抗炎症）
○オオウメガサソウ葉エキス（収斂・消臭・抗紫外線）
○ダイズ種子エキス（女性ホルモン様作用・脂線抑制・細胞賦活）
○レウコノストック／ダイコン根発酵液（天然抗菌・保湿・肌バリア向上）
○セイヨウシロヤナギ樹皮エキス（天然抗菌・保湿・肌バリア向上）
○ｂ－ＰＡＮ(ハチミツ天然発酵物)（アミノ酸、タンパク質成分）
○プロテオグリカン（発毛・育毛効果）

ノンシリコン・石油系界面活性剤フリー・パラベンフリー・鉱物油フリー・紫外線吸収剤フリー

【定価】　１本 400ml
5,200 円（税込 5,720 円）

お客様の声


Sarah アンケート
お声を聞かせてください。

Q1 Sarah を使い始めたきっかけを教えてください。
（その時のお肌の悩みは？）
年齢によるシミ、たるみ、目元、口元のシワなどなど悩み満載、そして毎日のウォーキングによる日焼け

Q2 Sarah の使い心地はいかがでしたか？
ぐんぐん肌が飲み含んでいく印象。嫌なベタつきが無いのが気に入りました。（一般の化粧品のベタつきが苦手なので）

Q3 Sarah 使用後に感じた変化はありますか？
マリオネット線が徐々に薄くなってきたみたい肌のキメも整ってきた様です。これからも使用していきたいです。

お名前（塩谷 登志栄）年齢（56）

サロンRana
株式会社ラナ
TEL：0743－61－5276
〒630-0212
奈良県生駒市辻町771-17
Mail：
sarah.cosme.jp@gmail.com
HP：
https://sarah-bihada.com　（Sarah）
https://rana-detoxsalon.com　（Rana）
Sarah